平成 　28 年　3 　月　1　日

研修報告書

氏名： 加藤　耕治

所属：名古屋大学　小児科

研修期間：平成　28年　2月　15日　～　平成　28年　2月　26日

研修場所： 信州大学　遺伝子診療部

研修内容：

月曜午前：外来症例予定確認。午後：ID外来。

火曜終日：遺伝子診療部外来。夕方：遺伝子診療部カンファレンスに参加。

水曜終日：稲荷山医療福祉センタ―見学

木曜終日：遺伝子診療部外来

金曜終日：遺伝子診療部外来

空き時間を利用して適宜染色体検査の実習

研修成果：

・遺伝子診療部での外来に陪席し、家系図・病歴を含めた情報収集の流れや、身体所見の取り方、遺伝子検査を行うに際しての説明といった一連の流れを把握することが出来た。

・また、マルファン症候群やエーラスダンロス症候群を始めとして、名前だけは知っているが見たことのない症例を見て、触って話を聞くことが出来た。

・染色体の部分逆位や不育症など、遺伝カウンセリングにおける対応も学ぶことが出来た。

・ラボの研修の方では、染色体検査やFISHの手順を知ることが出来た。

・また、染色体を順番に並べる練習も何度かして、イメージを掴むことが出来た。

その他（感想・要望・反省点、等）：

・染色体検査・FISH・マイクロアレイなどについて、丁寧に教えて頂けたのが良かったと思います。もう少し基礎の内容に関して予め聞いておき、事前学習をして来ればもっと色々と聞けたのにと反省しました。

・外来では多彩な症例があり、とても勉強になりました。実際に検体が採取された後の、IDパネルや結合織パネルなどを解析してというところまで見れたらより良かったです。